

H29.1.31《近畿はひとつ》 心をひとつに、熱い研修会を開催しました

講師：山下 文一先生（高知学園短期大学幼児保育学科准教授）

演題：「一人一人の子どもの未来を拓く確かな幼児教育をめざして」～今、保育者に求められる専門性とは～

今年度、「幼児教育じほう」に毎月連載されている山下文一先生をお招きし、近畿各府県の先生方と一緒に学び合いました。

「幼稚園教育要領の改訂」は、これまでの理念と変わるものではなく、むしろ、幼稚園から高校までの学校教育のつながりがより明確に示されたのだと熱く語っていただきました。また、「これからの子どもが生きる社会」を見つめ、勇気をもって改めるべきことと、流されずに押し戻していくことが必要なことを見極める大切さについても示唆いただきました。特に、幼稚園、家庭、地域の役割を見直し、家庭に戻していくこと、地域で担っていただくこと、幼稚園で担うことを整理し、相手に納得していただけるように説明する熱意や姿勢が必要であることも教えていただきました。



「あなたの園の教育目標は？」「どうしてその教育目標が設定されたのですか？」など、設問シートを元にしたワークの時間には、和やかに意見交流し合い、会場が一つになっていきました。

会の終了後には、山下先生を囲んで「今後の幼児教育」談議に更なる花が咲きました。組織の同僚性を高める大切さと、そのために必要な温かい関係性についても学び合った研修会。近畿各府県の支部長・理事が協力し、「近畿はひとつ」を合言葉に、近畿の組織も温かく前向きにつながり合うことを約束し合いました。

